

なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

12月のなんでも相談会は、税務・経営相談が16日(月)、法律相談が16日(月)です。ともに13時30分~15時30分まで(予約は15時まで)。30分刻みで要予約。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。インボイス制度個別相談会は16日(月)10時~16時。45分刻みで要予約。定額減税制度の相談も受け付け。



(購読料は組合費の中に含まれています。)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日



ワンパクまつりに40名で参加

11月23日の勤労感謝の日に毎年開催するしま子どものつどい、「別名ワンパクまつり」に、今年も豊島支部は総勢40名ほどで参加しました。

私は、こども木工教室コーナーで手さげボックスの工作を担当しました。工作に参加した子供達は、午前午後を通して80人ぐらいで、子供たちにとって、げんのうを持ちモノを作ることが楽しいのだと感じました。仲間の組合員たちも頑張ってくれて、木っ端トイやモザイクタイルも、列ができるほどの人気でした。

イベントのクライマックスである、午後2時半からの上棟式には、高際区長も駆けつけてくれました。昨年組んだ軸組よりもより高い、カレッジから譲り受けた軸組に、筋交いや耐震金具を施し、複数の人間が屋根の上に乗れ



クライマックスの上棟式

るよう補強を施しました。

お菓子まきは、子供達には大人気でした。へん好評でした。上棟式の最後では、物事が無事に終わったことを祝う日本の風習にちなみ、みんなで一本締めの手打ちをして、ワンパクまつりを終了しました。

今年も怪我は無く、多少の準備不足はありましたが、問題点を反省して、来年以後につなげていきたいと思ひます。
宮本卓廣執行委員長(上池袋本町分会)

美味しそうに食べる子どもたちの笑顔に感激

豊島支部青年部は、今年も本隊の子ども木工教室とは別に独自のブースを出店しました。昨年同様、ポップコーンと飲み物、新たに焼きそばの販売を行いました。

初めての参加で、部会では先輩達からは昨年のフランクフルト、ポップコーン販売の様子を聞いてどんな感じのかなと想像しながら準備を進めていました。実際当日になると、当初想像していたワンパクまつりとは違い、お子さんも多く、とても賑やかな祭りでした。

私は焼きそば作りを担当し、初めて鉄板で大人数分の焼きそばを作りました。最初は初めてでうまく作れるか、売れるか大丈夫かなと自分の中で不安がありました。青年部OBの田中さんから鉄板での焼きそばの作り方を教わり、数を重ねるごとに納得のいく焼きそばを作れるようになり



やきそばを焼く武村さん(写真中央)

ました。

そして、どんどん売れ始めて来て、子供達の焼きそばやポップコーンを食べる美味しそうな顔も見ることができ、とても嬉しく感じました。

今回のワンパクまつりに初めての参加で慣れないこともたくさんあり大変でしたが、とても良い思い出、経験となり、皆で参加できてよかったと心から思いました。

武村兆亮通信員(青年部員・椎名町分会)

最重要組合活動は 拡大と要請ハガキだと再認識

豊島支部では、令和6年11月16日土曜日に労働学校を開催いたしました。テーマは午前の部では、保険証廃止とマイナ保険証について、午後の部では、東京土建保と労働組合運動について勉強をしました。

当日は、講師に木村潮人国保組合専務理事を交えて書記、組合員を含めて15名の参加となりました。

私の感想としては、東京土建組合は、設立当時から様々な組合運動を経て現在に至っており、その中において最も重要な活動では、組合員拡大運動と国、

都政、行政からの国保補助金を確保する為の要請ハガキやその他の署名活動だという事を改めて認識しました。

また、この活動を次世代の組合員の仲間達に継承してもらいながら今後の東京土建組合の更なる発展と存続に繋げていける様に日々の組合活動に励んでいこうと思ひます。



講師の木村土建国保組合専務理事

梅澤光法副執行委員長(学習制度化委員長)

12月2日以降の土建国保保険証とマイナ保険証の取り扱いについて

■ 12月2日以降、紙の保険証は一切発行されなくなります。

それ以前に紙の保険証(土建国保)を受け取った人は、翌年令和7年3月31日までその保険証を使用します。マイナ保険証を持っている人は、紙の保険証を使わずマイナ保険証の使用を国より推奨されますが、紙の保険証も使用できます。

12月2日以降に土建国保に加入した人
12月2日以降に紙の保険証を紛失した人
12月2日以降に後期高齢者医療制度に移行した人
マイナ保険証 有 → 資格情報のお知らせを発行
マイナ保険証 無 → 資格確認書を発行

■ 来年(令和7年)4月1日以降はどうなる?

国と土建国保組合との情報連携により、特別な手続き不要で

マイナ保険証 有 → 資格情報のお知らせ を発行
マイナ保険証 無 → 資格確認書 を発行

例年の保険証交付会の形式のようなかたちで、配布致します。詳細は各分会に問い合わせください。直属・事業所は、資格情報のお知らせ・資格確認書の交付日を設けます。

■ 高齢者受給者証、限度額適用認定証、特定疾病療

養受療証の取り扱い

12月2日以降、保険証は交付しませんが、上記の書類はこれまで通り交付します。

マイナ保険証を持っている場合は、上記書類の交付は必要無いとされていますが、マイナ保険証が使用できない場合なども想定して、従来通り交付します。

■ マイナ保険証の登録解除

利用登録の解除が出来なかったマイナ保険証ですが、解除できるように制度が変わりました。「マイナンバーカードの健康保険証利用登録の解除申請書」を記入して保険者(土建国保組合・豊島支部)へ申請して下さい。資格情報のお知らせを交付している場合は、返納が必要になり、代わりに資格確認書を交付します。

■ 2か月間のタイムラグ

マイナンバーカードの保険証利用登録は、システム全体に反映されるまでに2か月かかります。登録解除も同じです。よって、4月1日の直前でマイナカードの保険証利用の手続きをしたり、解除をした場合、旧データのまま資格確認書や資格情報のお知らせが交付される場合があります。マイナ保険証を希望される方、解除される方は、早め(令和6年中)の手続きをお願いします。

防災意識を高める取り組み — 区主催防災フェスへの参加

毎年防災の日に、総合体育場隣の
朋有小学校で開催していた豊島区
総合防災訓練が、ドキドキ防災フェスに
名称変更してから3年が経ちました。
会場も、朋有小のとなりに新たに整備
された防災公園(イケサンパーク)に
移動して、すぐ隣の総合体育場でス
ポーツまつりを同時に開催すること
で、「としまスポーツまつり&ドキドキ
防災フェス」は豊島区でもっとも多
くの区民が参加するイベントに成長
しました。

総合防災訓練の頃から参加協力し
ていた豊島支部は、今年も10人の仲間
で参加して、豊島支部ブースを開設し
ました。先だって区役所で開催した住

宅相談フェアで展示し、好評だった耐
震補強した原寸大の軸組模型を展示
し、無料住宅相談や災害時折り畳み
イスを製作、販売しました。子ども連
れの来場者も多く、住宅相談や折り畳
みイスよりも、住宅デーの残りの風船の
人気の方がはるかに高く、東京土建豊
島支部の名前入り風船を持った子ど
もたちが会場じゅうで見られました。
折り畳みイスも響く人には響くよう
で、二個三個とまとめて購入する人も
いました。終了後には支部で反省会を
開き、来年に向けて、年々大きくなるイ
ベントの中で、より豊島支部をアピ
ールしながら防災意識を区民に呼びか
ける手段について話し合いました。



住宅フェアで住宅相談 実物大の軸組を制作・展示

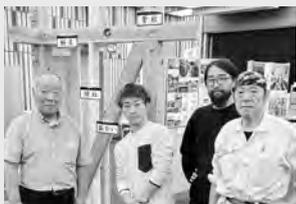
駒谷雄太 仕事対策担当書記

10月10日、豊島区役所1階にて、豊島区建築士協会
主催の「住まいの無料相談フェア」が開催されました。

このイベントでは、区民から寄せられた増改築やリ
フォームに関する相談を受け付け、専門家が解決策を
提案しました。豊島支部は建築士協会の要請を受け、
実物大の耐震構造の軸組を制作・展示しました。

自然災害が多く発生する中、住宅の耐震性がますます
注目されています。

この展示は、地震に強い住まい作りの重要性を直接
感じてもらうことを目的として、広瀬住宅センター会長
を中心に制作が行われました。制作には組合員5名が参加し、3日間かけて完成させました。
当日は、青年部の和田さん(かなめ分会)や、建築カレッジで講師を務めた経験もある
武石さん(上池袋本町分会)といった若手組合員も参加し、その経験を生かして組み上げ
ました。



広瀬さん(左端)が設計した軸組を、
大工の和田さん(中央)原沢さん(右
端)が製作しました。

軸組は、耐震構造の仕組みが理解できるよう工夫されており、多くの来場者たちが興味を
示し、構造の仕組みを確認していました。来場者からは「普段目にするのがない部分を実
物で見られて、家の耐震性について考える良い機会になった」という声が寄せられました。

この展示を通じて、来場した区民の防災意識が高まり、住まいの安全性に対する新たな
理解を深めることができた点は、非常に意義深い成果となりました。

今後も、地域との連携を深め、住まいの安全性向上に向けた取り組みをさらに強化して
いきます。

歴史と自然、鉄道の魅力満喫の分会レク

遠藤正行 支部副委員長(上池袋本町分会)

上池袋本町分会では、秋のバスレクを11月10日に開催しました。当日は曇り空でしたが
参加者全員が時刻通り来てくれました。

最初に訪れたのは足尾銅山で、紅葉はまだまだでした。やはり地球温暖化が進んでいる
のかなと思います。何だか秋がなくなり冬が来てしまいそうで、寂しい感じがしました。

トロッコに乗り銅山の入口まで行き、下車して徒歩で洞窟に入りました。洞窟の中は、外
気温よりもひんやりとした寒さを感じ、当時の労働者たちがどれ程、過酷な環境で働いて
いたのかを実感しました。さらに通洞駅から1両編成の電車に乗り大間々駅で降りました。
車窓から少しだけですが色とりどりの葉を見る事が出来ました。

その後、場所を移動しておいしい食事を堪能し、皆で楽しい会話を交わしながら、充実し
たひとときを過ごしました。

今回のバスハイクは、歴史と自然、鉄道の魅力を満喫でき、仲間たちとの絆も深める素
晴らしい時間でした。来年もまた企画していきます。



城北ブロックPALの会 クルーズレク

宮島秀樹 豊島支部PALの会会長(さくら分会)

城北ブロックPALの会サンセットクルーズに行ってきました!
エントランスホールでハーブの生演奏に迎えられ、忙しい日々を忘れ非日常空間へ。田
中幹事長の乾杯の音頭と共に会食スタート!!

豊島支部PALの会は若手メンバーで集まり、楽しい食事のひと時を過ごし、みんな
でデッキへ。しかし、サンセットクルーズなのに、料理が美味すぎて夕焼けを見逃しました。
板橋、練馬、北支部のPALの会会長達とも意見交換できて、実りのある話ができよ
かったです。

今後どの様にして、野丁場で働く仲間の声を集めて、企業交渉の場に反映させていく



田中豊島支部PAL幹事長の乾杯で宴会が始まりました。

か?弱者の立場である労働者の目線から、どう処
遇改善を働きかけて行
けば良いのか?等々、話
は尽きない中、あとい
う間にクルーズ船は帰
港しました。

楽しかったです、また
仕事を頑張るって稼いで、
皆で遊びに行きたい
と思わせてくれるレク
レーションでした。

寿司を楽しみ分会の結束深まる

田中承宏 椎名町分会分会長(同分会教宣部長)

10月20日、椎名町分
会ではバスレクを開催
しました。普段は11月に開
催しているレクですが、今
回は拡大月間の息抜きと
して少し早めの開催とな
りました。



今回の旅行先は茨城
県。二年前にも開催した
寿司食べ放題をもう一度体験したいとの思いからでした。

豊島区を出発し、最初に立ち寄ったのは農産物直売所。旬の野菜やお米などがたくさん
売られていて楽しい買い物時間でした。続いて今回の目玉、那珂湊の回転寿司へ。大きめ
のネタは、どれも新鮮で食べ応え抜群。回っているものは何でも食べ放題で、ウニやイク
ラ、えんがわなどをめいっぱい楽しみました。

漁港での買い物を終えた後は、大洗磯前神社に向かいました。集合写真を撮り自由行動
へ。神社の中を散策したり、海辺の鳥居を見に行ったりしました。

めんたいパークに立ち寄り、最後は柿狩りを楽しみました。想像以上に固い柿に苦戦し
ながらも、果物は別腹とばかりに食べました。

天候にも恵まれ、楽しい旅行になりました。家族連れからベテランまで幅広い人が参加
し交流を深めました。分会の結束を図るいい機会になりました。